

■ガタ高の歴史

～苫中から東高へ 3万人の青春「80年物語」～

町民の厚い要望から町立苫小牧中学校が設置

昭和10年になって中学校設置運動が起こったものの、道庁の財政状況は極めて悪く、庁立中学校の設置は無理であった。しかしながら中学校設置に対する町民の要望は高く、昭和12年1月2日、満場一致を持って中学校の設置が町会で可決された。その後3月17日付けをもって文部大臣より町立苫小牧中学校設置の認可が下りた。このスピード決定に町民は満足と感激を新たにした。そして4月22日東小学校で開校式が行なわれた。

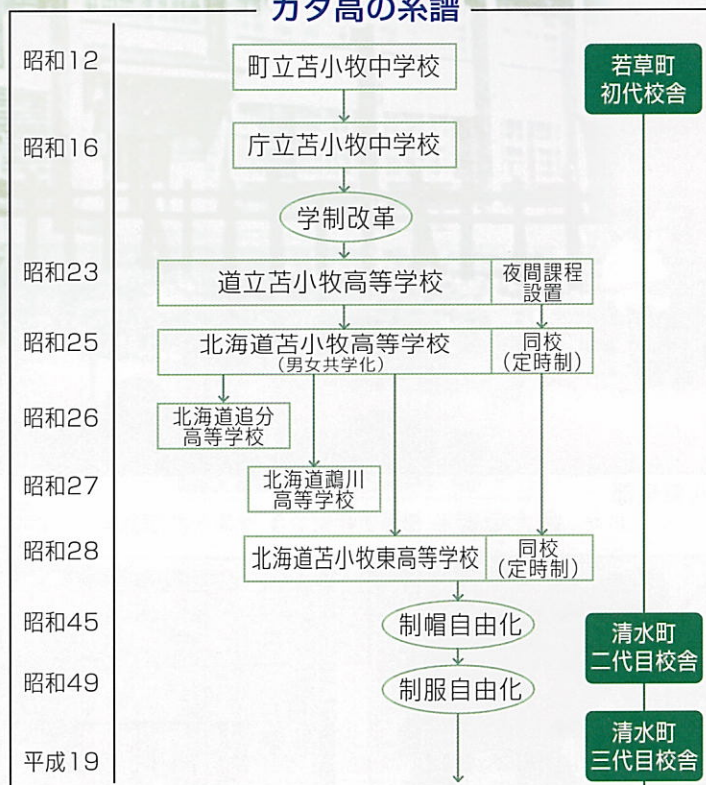
当時の校歌が脈々と続く

昭和23年学制改革により、苫小牧高校への改称。その後、昭和28年に苫小牧東高校に改め現在に至っている。また、学制改革により旧制中学から新制高校に変わった際に校歌を変更した学校も多いが、本校は学校形態が変わっても、若干の歌詞の変化こそあれ、開校当時の校歌が現在に続いている。

制服自由化

昭和45年、制帽の着用が自由化され、その流れを受け継ぎ昭和47年3学年有志により「制服を考える会」が発足した。数多くの討議の結果、昭和49年2月16日の生徒総会で「制服自由化」を賛成462票、反対332票で可決した。3月26日には学校側から回答がなされ、同意する形となった。その際、「学習にふさわしい服装・機能的で通学にふさわしい服装・華美にわたらず清潔な服装」の注意事項が付け加えられた。

ガタ高の系譜



初代校舎 ネズミが「ガタガタ、チュウチュウ」騒いでいた。これこそ「ガタ中(高)」の由来。



2代目校舎